



# 外国の国民の司法参加制度

諸外国では、どのように国民が司法に参加しているのでしょうか？  
さいニャンが紹介するニャ！



国民の司法参加について、外国ではどのような制度になっているのかな。



外国で、国民が裁判に参加する制度を取り入れている国はたくさんあるよ。  
国民が裁判にどのように関与するかは国によって違うけれど、おおむね陪審制と参審制に分けることができるんだ。



陪審制ってなあに？



**陪審制**は、犯罪が行われたかどうかなどの事実の認定は国民から選ばれる陪審員のみが行い、その事実がどのような犯罪に当たるかやどのような刑罰がふさわしいかの判断は、法律の専門家である裁判官が行う制度だよ。  
陪審制の起源となる制度は13世紀にイギリスで始まったと言われていて、長い年月をかけて、次第に現在の制度に近づいてきたんだ。  
イギリスのほか、アメリカやオーストラリアなどでも採用されているよ。



へえ。参審制っていうのとは、何が違うんだろう？



**参審制**は、陪審制と違い、国民から選ばれる参審員が裁判官と一緒にあって、事実の認定だけでなくどのような刑罰がふさわしいかなどについても判断を行う制度だよ。ドイツ、フランス、イタリアなど、参審制を採用している国も多いよ。  
イギリスで始まった陪審制はヨーロッパ大陸諸国にも導入され、その後参審制に姿を変えて定着したと言われてているんだ。



日本以外のアジアの国々はどう？



アジア諸国にも、国民の司法参加の制度が導入されている国はあるよ。例えば、韓国では国民参与裁判制度と呼ばれる独自の制度が2008年に導入され、刑事事件の審理に国民が参加しているけれど、最終的な判断は裁判官が行うことになっているんだ。



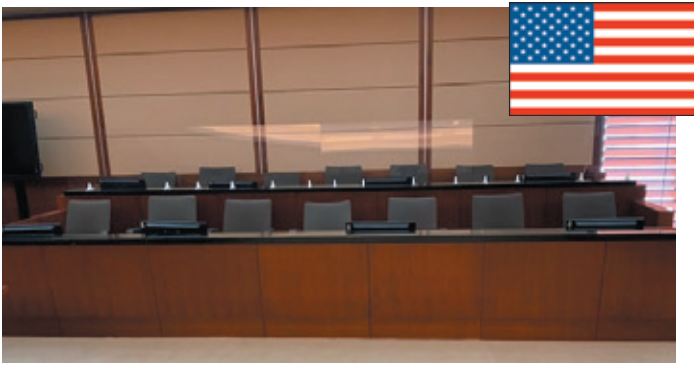
国によって、様々な制度があるんだね。  
海外の裁判所の法廷ってどんな感じなんだろう？



次のページでは、諸外国の裁判所の陪審・参審裁判用法廷や評議室の写真を紹介しているよ。国によって法廷の雰囲気も違って面白いね。  
オーストラリアのヴィクトリア州郡裁判所のウェブサイトでは、裁判所のバーチャルツアーをすることもできるよ！

※ ヴィクトリア州郡裁判所の写真はバーチャルツアーの画面です。

URL: <https://www.countycourt.vic.gov.au/learn-about-court/educational-resources/virtual-tour>



アメリカの連邦地方裁判所 (United States District Court) の法廷。写真は陪審員席。



アメリカの連邦地方裁判所 (United States District Court) の法廷。中央奥が裁判官席、裁判官席の左側が証人席、手前は廷吏席、書記官席。



アメリカのオハイオ州 (ハミルトン地区) 第一審裁判所 (Hamilton County Court of Common Pleas) の陪審裁判用法廷。右側に見えるのが陪審員席。



ドイツのミュンスター地方裁判所 (Landgericht Münster) の法廷。左側の座席に裁判官と参審員が座る。



韓国のソウル中央地方法院の刑事法廷。中央奥が裁判官席、左側奥に見えるのが陪審員席。手前は被告人・弁護人席。



イギリスのロンドンにある中央刑事裁判所 (Central Criminal Court) 内の法廷。右側の緑色の椅子が陪審員席の第一目。「古い城壁」という意味の "Old Bailey" の通称で知られている。



ヴィクトリア州郡裁判所 (County Court of Victoria) の法廷。中央右側奥に見えるのが陪審員席。



ヴィクトリア州郡裁判所の評議室 (Jury room)。陪審員が評議・評決を行う部屋。